

**まちづくりグループ「なぶら」
道路ふれあい協議会から感謝状**

町内でまちづくり活動や環境美化活動を行っている「黒潮町まちづくり推進委員会・なぶら」(明神里寿会長以下21人)が、このたび、四国道路ふれあい協議会(事務局・国土交通省四国地方整備局)から感謝状を贈呈されました。

「なぶら」は、佐賀地域の国道56号線沿いの花壇に花の苗を植えたり、伊与木川の堤防にコスモスの種を蒔いたり、長く環境美化活動を行っており、そのことが評価されたものです。明神会長は「地道な活動が評価されて大変うれしい。これからも会員と協力しながらまちづくりや環境美化活動を行っていききたい」と喜びを語りました。(企画振興係)



伝達式は、国土交通省中村河川国道事務所で行われ、石田和敏所長から明神会長に感謝状が手渡されました。

**海から山から地域を元気に！
第34回黒潮町農漁村女性の集い**

9月2日、黒潮町農漁村女性グループ研究会主催の「第34回黒潮町農漁村女性の集い」が行われ、大月町の女性グループを含む67人が参加しました。

午前中、NPO砂浜美術館事務局長の山本あやみさんが「黒潮町に住むことと住んで良かったと思える町をつくる」と題して講演。Tシャツアートに惹かれ黒潮町へ移住した山本さんは、自然と向き合いながらこの町の一員として働く思いを、県外に住んでいた経験と重ねながら発表しました。

午後は、町情報防災課が南海トラフ地震対策の考え方を映像を交えて説明し、県外からのインターン新規就農者・天野隆さんが就農に向けた体験を発表。また、土佐清水漁業指導所の谷知宏さんが、6次産業化への取り組みや、現代人の魚離れについて発表しました。参加者からは、「町の良さに気づき、発信していきたいことは素晴らしい」などの感想がありました。町では今後も、農漁村女性グループの活動を支援していきます。(農業振興係)



「大切なのはここに住み、この町が好きだと言えること」と話す砂浜美術館・山本あやみさん。

**第13回上林暁忌俳句大会
上林暁をしのび50人が投句**

下田の口出身の作家・上林暁をしのび、「第13回上林暁忌俳句大会」が、8月24日、黒潮町保健福祉センターで開かれました。

この大会は、三水会、上林暁顕彰会、上林暁文学館が2年に1度開催。今回は、50人を超える参加者が集まりました。

午前中、下田の口の生家や入野松原などを吟行し、約2000句の投句がありました。午後からの大会では、講師・松林朝蒼さん(俳誌「夏爐」主宰)によって入賞作品20句が選ばれ、選評と表彰が行われました。主な入賞作品は下記のとおりです。(大方あかつき館)

【上林暁大賞】
倒れたる稲を刈りをり暁忌
山崎紀美子

【中山一志賞】
浜木綿は実に暁の生家古り
篠田たけし

【暁賞】
暁忌土間に糸なき糸車
宮崎宇佐美

閉ざされし暁生家榎壺の実
文野 好子

暁の忌日の集ひ美志保亡し
柴岡 弘城

ででむしや暁生家門閉ざす
宮川 昭男

水戸石を外して稲刈り待つばかり
武吉 慶子

秋灯ほのと蚕室文庫かな
芝岡 美代

生家庭柿太りをり暁忌
浜田 一豊



講師の松林朝蒼さん。50人が詠んだ200句の中から、20句の入賞作品が選ばれました。